

1. 科目名（単位 数）	公衆衛生（2 単位）	3. 科目番号	SSMP3335 SNMP3335 SCMP3335 SBMP3335 SPMP3335 EDHE3314
2. 授業担当教員	橋本 由利子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	公衆衛生は、健康上の問題を集団で捉えることにより、疾病の予防や健康増進のための組織的な対策や制度を考える学問である。福祉や医療に携わる専門職には、必須の分野である。 本科目では公衆衛生の概念や基本的な考え方、我が国が直面しているさまざまな健康問題（感染症、生活習慣病など）の現状と課題を学び、疾病予防や健康増進のための公衆衛生活動について考察する。さらにこれからの保健・医療・福祉の方向性と互いの連携の在り方について、学生自身が考察できる力を身につけることができるようにする。		
8. 学習目標	1. 公衆衛生の歴史と概念について説明できるようになる。 2. 保健統計の各指標について説明できるようになる。 3. 疫学の考え方について説明できるようになる。 4. 各健康問題（感染症、生活習慣病など）の現状に関心を持ち、課題の解決に対して意欲を持てるようになる。 5. 専門職として理解しておくべき公衆衛生に関する知識や考え方を習得し応用できるようになる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	その日に学習したことを整理するために、毎回ワークシートを提出する。 レポート課題：わが国で社会問題となった健康上の問題について、その概要、どのような社会問題となったかなどをまとめなさい（1600～2000 字程度）。なおレポートは添削して返却するので必ず書き直して再提出する。 ＜過去の課題例＞ 新型コロナウイルス感染症、ハンセン病、水俣病、生活習慣病対策、職場のメンタルヘルス対策など 研究発表：レポート課題で調べた内容について、わかりやすく発表しなさい。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】小山 洋・辻 一郎監修、上島通浩・大久保孝蔵編集『シンプル衛生公衆衛生学 2025』南江堂、2025。 但し、2024 年版の教科書を持っている学生はそれでも可。 【参考書】厚生統計協会編集・発行『国民衛生の動向 2024/2025 年』。 澤口彰子他「人体のしくみとはたらき」朝倉書店、2015。 清水忠彦・南波正宗『わかりやすい公衆衛生学』スーパールヒロカワ。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。勤務形態		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 保健統計・疫学などの用語や考え方を説明できるようになったか。 2. 身近な健康問題の現状に関心を持ち、自らの考えで対処できる力を身につけたか。 ○評定方法 [日常の授業態度、提出物等を総合して評価する] 1. 日常の授業態度（参加、実践、態度） 総合点の 4 0 % 2. 課題発表・期末試験など 総合点の 6 0 %		
12. 受講生への メッセージ	少子高齢化が世界で最も進んでいる日本において福祉や保健を志す人は社会の健康問題に常に敏感になることが必要である。新聞などのメディアが報じるニュースをよくチェックし解決策を考えてみよう。あなたが考える対策がこれからの日本の将来を決めるかもしれない。なお健康問題を考えるにあたって、人体の仕組みについてもよく復習すること。 [受講生に期待される学習態度] 1. 授業は常に高い緊張感と集中力をもって受講すること。学生の積極的な態度が望まれる。 2. 授業中、授業外に進んで教師に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. レポートの提出期限は厳守すること。事情によって提出日に間に合わない場合は講師にそのことを文書で伝え許可をとるようにする。 4. 授業中の私語、携帯電話の使用は絶対にしないこと。守れない場合は退室のこと。 [講師は次のことを実行する] 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用については厳格に対処する。		
13. オフィスアワー	授業開始時にお知らせします。質問はメールでも受け付けます。p-yuhashim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	公衆衛生の概念および歴史（古代ローマの環境保健対策、中世ヨーロッパの港で行われた感染症予防対策、ジョン・スノウの功績、高木兼寛の業績、チャドウィックの主張、ウィンスロウの公衆衛生の定義、WHO の健康の定義、疾病構造の変化）	事前学習	教科書第 1 章「衛生学・公衆衛生学序論」を読んでおく
		事後学習	公衆衛生の概念及び歴史について復習し、ワークシートを提出する
第 2 回	保健統計（世界の人口とその推移、何が人口の増加をもた	事前学習	教科書第 2 章「保健統計」を読んでおく

	らしたか、人口転換、日本の人口とその推移、合計特殊出生率の推移、健康指標、粗死亡率と年齢調整死亡率、平均寿命と平均余命、罹患率と有病率、患者調査)	事後学習	保健統計について復習し、ワークシートを提出する
第3回	疫学(疫学とは何か、疫学調査の手順と留意事項、選択バイアス・情報バイアス・交絡バイアス、無作為化比較試験(RCT))	事前学習	教科書第3章「疫学」を読んでおく
		事後学習	疫学について復習し、ワークシートを提出する
第4回	疫学続き(年齢調整死亡率の求め方、相対危険度・寄与危険度の求め方)	事前学習	教科書第3章「疫学」を再度読んでおく
		事後学習	疫学について復習し、ワークシートを提出する
第5回	感染症とその予防(感染症の成立要因、感染症予防対策)	事前学習	教科書第5章5-1「感染症の予防」を読んでおく
		事後学習	感染症について復習しワークシートを提出する
第6回	食品と健康(食中毒の原因(病原微生物・自然毒・化学物質)と発生状況、予防対策について、食品の安全性を確保するための法律について)	事前学習	教科書第6章6-9 2.「食品と健康」を読んでおく
		事後学習	食品と健康について復習しワークシートを提出する
第7回	環境保健の概要(環境の諸要因と評価、量-反応曲線、環境要因による健康被害、放射線による健康被害、公害の概念と歴史、環境対策)	事前学習	教科書第6章「環境保健」を読んでおく
		事後学習	環境保健の概要について復習しワークシートを提出する
第8回	生活習慣病対策(生活習慣病とは何か、生活習慣病による死亡率、一次予防・二次予防・三次予防の概念、健康日本21(第2次)、ヘルスプロモーションの考え方)	事前学習	教科書第4章「疾病予防と健康管理」を読んでおく
		事後学習	生活習慣病対策について復習しワークシートを提出する
第9回	母子保健(日本の母子保健の水準、乳児死亡率、周産期死亡率、妊産婦死亡率、幼児死亡率、母子保健対策、健康診査、母子健康手帳、保健指導と医療援護、母子保健の課題と動向)	事前学習	教科書第8章「母子保健」を読んでおく
		事後学習	母子保健対策について復習しワークシートを提出する
第10回	歯科保健(乳歯と永久歯の萌出時期と歯の構造、むし歯と歯周病、歯周病と全身疾患、咀嚼の重要性、小児における歯科保健、高齢者歯科保健)	事前学習	教科書第9章9-5「歯科保健」、第11章11-23.「高齢者歯科保健」を読んでおく
		事後学習	歯科保健対策について復習しワークシートを提出する。返却されたレポートを書き直す
第11回	医療の制度(わが国の医療保障の制度、公費負担医療、医療保険制度のしくみ、国民皆保険制度、診療報酬制度、国民医療費の現状、介護保険制度)、難病対策(難病の概念)	事前学習	教科書第14章「保健医療福祉の制度と法規」を読んでおく
		事後学習	医療の制度と現在の問題点について復習しワークシートを提出する
第12回	学生発表(感染症関連の諸問題について学生がテーマを決めてレポートを作成し、それを既定時間内でわかりやすく発表する)	事前学習	感染症に関する健康問題にはどのようなものがあるか復習する。当日発表を行う学生はその準備を行う。
		事後学習	感染症に関する健康問題についてまとめる
第13回	学生発表(生活習慣病関連諸問題について学生がテーマを決めてレポートを作成し、それを既定時間内でわかりやすく発表する)	事前学習	生活習慣病に関する問題にはどのようなものがあるか復習する。当日発表を行う学生はその準備を行う。
		事後学習	生活習慣病に関する問題についてまとめる
第14回	学生発表(メンタルヘルス対策諸問題について学生がテーマを決めてレポートを作成し、それを既定時間内でわかりやすく発表する)	事前学習	メンタルヘルス対策に関する問題にはどのようなものがあるか復習する。当日発表を行う学生はその準備を行う。
		事後学習	メンタルヘルス対策に関する問題についてまとめる
第15回	まとめ	事前学習	今まで学習したことを振り返り、日本の公衆衛生にはどのような問題があるか考えてくる。
		事後学習	公衆衛生全体について学習したことをまとめる